

いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけうり

令和3年9月1日(水)第17号 (発行者 校長 大木 淳)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

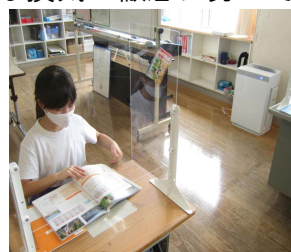


夏休みの作品から

8月25日(水)から2学期が始まり、元気に登校してきた子どもたちの笑顔を見て、こんなに安堵したことはなかった、と思いました。緊急事態宣言とまん延防止等重点措置に指定された都道府県は半分を超え、いつ感染してもおかしくない状況となっております。

学校では、引き続き感染予防として、マスクの着用・手指消毒・定期的な換気の徹底に努めております。また、今年度も感染予防対策費をいただきましたので、体温測定器と高性能空気清浄機を購入しました。検温器は玄関、空気清浄機は教室・学習室・職員室に設置いたしました。

さて、ご家庭の皆様にも参加いただきました「17字で奏でよう 絆ふれあい支援事業」と川前地区防犯協会主催「標語コンクール」の作品をご紹介します。



17字で奏でよう 絆ふれあい支援事業

Aさん 子 たのしみな いとこたちとの バーベキュー
(いつの日か、みんなと楽しいことができることを期待して生活したい)
祖母 コロナでの 会えぬ淋しさ 声で聞き
(遠方にいる息子を想い、帰ってこれない現状で声だけでも聴けることがとても楽しみです)

Bさん 子 家族でね おはかまいりに 行った夏
(夏休みに家族で行ったのは、母方のおはかまいりだった)
父 時こえて 堤防こえて 浜かける
(お墓参りの後、浜辺ではしゃぐ子どもたちを見ながら、10年前の震災を思い出し、今日があることに感謝と喜びを感じました)

標語コンクール

Aさん かぎかけた 安心できる かくにんで
Bさん でんわでの 「おれなんだけど」 かくにんを
とじまりの 2回かくにん わたしのやくめ



ぼくらはみんな生きている(読み聞かせより)



「手のひらを太陽に」のフレーズ。「生きているからかなしい」は1番の歌詞、「生きているからうれしい」は2番の歌詞ですが、「うれしい」を2番目に持ってきた理由について、「かなしみはずっと続くものではなく、その後には喜びがある。幸福は不幸せでなければわからない」からとやなせさんは語っています。

手話を交えての読み聞かせに感動しています。